

お知らせ

令和元年11月25日
国土交通省中部地方整備局
岐阜国道事務所

岐阜県内建設発生土処理対策委員会（概要）

岐阜国道事務所で実施している東海環状自動車道の西回り区間の「岐阜山県第一トンネル（仮称）」（延長4,931m）について、岐阜県内建設発生土処理対策委員会現地視察（令和元年度第1回岐阜国道東海環状案件）を11月14日に開催しました。

土壌試験及び水質モニタリング調査結果、環境基準を超えたトンネル発生土の処理状況について報告、併せて現場視察を実施し適正に管理・施工されていることを確認いただきました。

○参加委員（※五十音順）

所 属	氏 名
岐阜大学 工学部	神谷 浩二 教授
岐阜大学 工学部	小嶋 智 教授
岐阜大学	佐藤 健 名誉教授（委員長）
岐阜大学 工学部	篠田 成郎 教授
一般財団法人 自然学総合研究所	寺尾 宏 客員研究員
岐阜医療科学大学 保健科学部	永瀬 久光 教授

○現地視察内容

【各種調査結果報告】

- トンネル工事における土壌試験結果について報告
- トンネル内の湧水及び仮置きヤードの流末における水質モニタリング結果を報告
- 環境基準を超えたトンネル発生土の処理状況を報告

【工事施工状況確認】

- トンネル坑内で施工状況及び地質状況を確認
- トンネルの湧水状況を確認



報告状況



岐阜市側坑内視察状況